

奈良県の地震

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

【奈良県地震概況】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

【地震一口メモ】

津波避難について

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

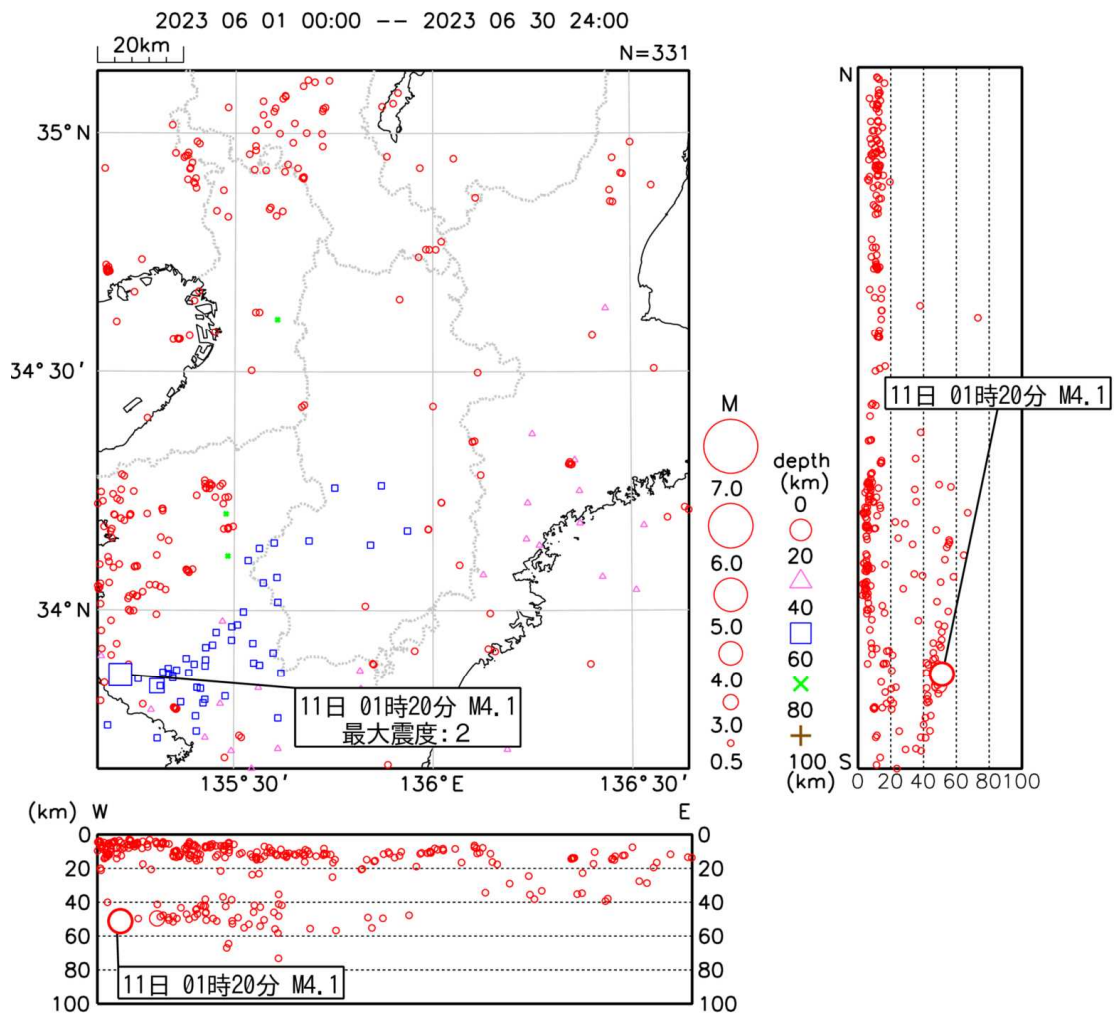
奈良地方気象台

2023年6月

【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



【奈良県地震概況】

11日 01時20分 和歌山県北部の地震(深さ51km、M4.1)により天川村・宇陀市で震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測しました。

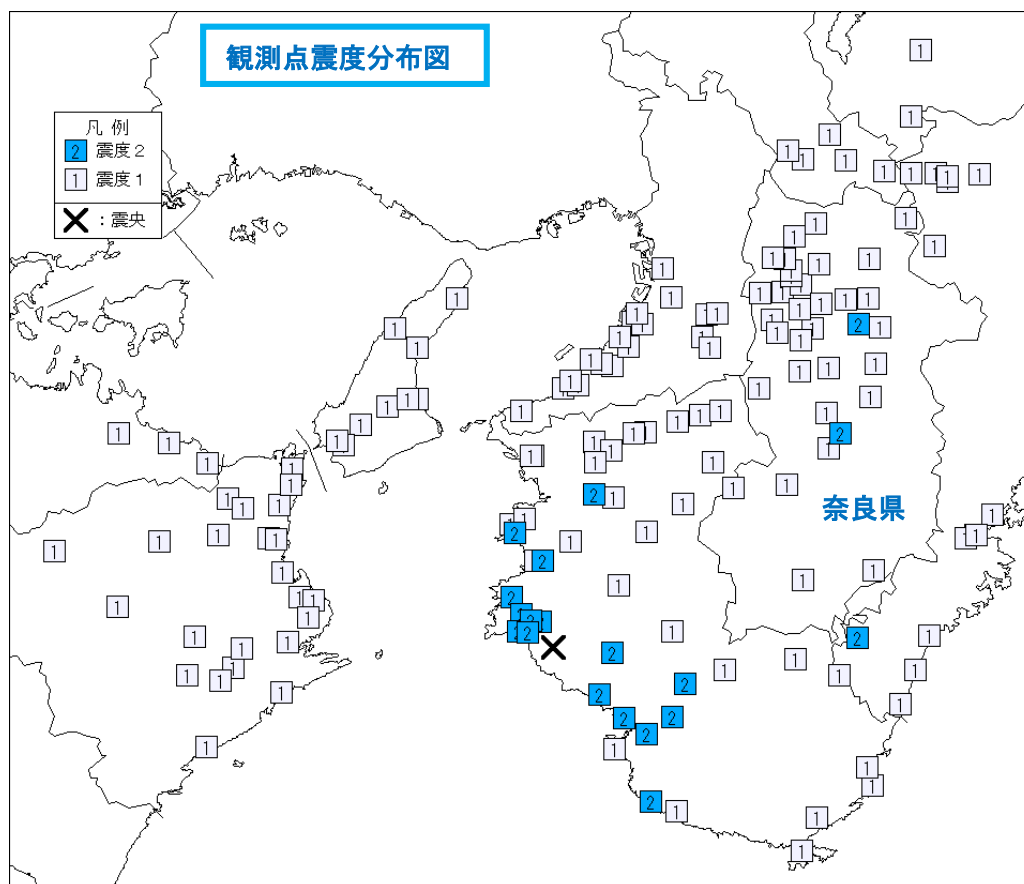
【奈良県で震度1以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度(奈良県内のみ記載)					
2023年06月11日01時20分	和歌山県北部	33° 51.8' N	135° 12.9' E	51km	M4.1
震度 2 : 天川村洞川, 宇陀市大宇陀迫間*					
震度 1 : 奈良市西紀寺町, 奈良市都祁白石町*, 大和郡山市北郡山町*, 天理市川原城町*, 橿原市八木町*, 桜井市初瀬, 桜井市粟殿*, 五條市大塔町辻堂*, 五條市岡口*, 御所市役所*, 香芝市本町*, 山添村大西*, 斑鳩町法隆寺西*, 安堵町東安堵*, 奈良川西町結崎*, 三宅町伴堂*, 田原本町役場*, 高取町観覚寺*, 明日香村岡*, 広陵町南郷*, 吉野町上市*, 大淀町桧垣本, 黒滝村寺戸*, 天川村沢谷*, 野迫川村北股*, 十津川村小原*, 下北山村寺垣内*, 奈良川上村迫*, 東吉野村小川*, 葛城市柿本*, 宇陀市菟田野松井*, 宇陀市榛原下井足*					

* 印は地方公共団体等の震度観測点です。

【奈良県で震度1以上を観測した地震の震度分布図】

2023年06月11日01時20分 和歌山県北部 33° 51.8' N 135° 12.9' E 51km M4.1



【地震一口メモ】

～津波避難について～

夏は海でのレジャーや買い物などで臨海部へ行くことが多くなる時期でもあります。今回は津波から命を守る行動について紹介します。

■津波から逃げる

津波はとても速い速度で襲ってきますので、海の近くにいた場合は以下のことに留意して直ちに海から離れ、より高いところを目指して逃げましょう。

津波警報等を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難しましょう

気象庁は津波による災害が予想される場合、地震発生後約3分を目標に津波警報等を発表します。発表された津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、防災行政無線、津波フラッグ等で知ることができます。

大津波警報・津波警報が発表された場合は、沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。また、津波注意報が発表された場合は、海の中にいる人は直ちに海から上がって、海岸から離れてください。

津波は長い時間繰り返し襲ってきますので、避難後は最新の情報を確認して、津波警報等が解除されるまで避難を継続しましょう。

右の二次元コード(QRコード)から気象庁ホームページの『津波フラッグ』をおぼえよう!!へアクセスすることができます。津波フラッグや津波からの避難を漫画でわかりやすく説明しています。



■津波に備える

・津波の標識

津波による浸水のおそれがあるところには、津波避難場所などがわかる標識を設置していますので事前に確認するようにしましょう。

・津波ハザードマップ

津波被害や津波による浸水のおそれがある自治体では、津波浸水想定や津波避難場所を示した図(津波ハザードマップ)を作成していますので、これらの地域に行かれる時は、事前にインターネットで確認することをおすすめします。その他、ホテルやショッピングセンター、レジャー施設などの事業所では津波避難計画を策定している場合がありますので、施設管理者の指示に従ってください。

また、大阪湾沿岸地域などの臨海地域に通勤・通学されている方は、自治体のホームページや広報紙などで避難場所・避難所を確認し、避難訓練や帰宅訓練への参加に努めましょう。

津波避難誘導の標識の例



津波避難場所



津波避難ビル

津波浸水地域の標識の例



津波注意

津波警報等を伝える旗



津波フラッグ

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去6年間程度分掲載しています。
URL : <https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

